



令和4年度 大和小学校たより

くすのき

令和4年 5月20日

◆学校がある意味

5月11日にふれあいウォークラリーを実施しました。本校では、1年間通じて、学年を超えた縦割り活動を計画しており、この日は、グループごとに、学校のグラウンドで「フリスビー投げ」、「靴飛ばし」を行い、その後、校外に出て、クイズに答えたり、ゆめパークで遊んだり、健康広場で人文字を作ったりしました。

毎年、この日は、安全面のお手伝いや広報誌の作成のために、PTAの本部役員の方や広報委員会の方々にご協力いただいています。

この日、来校された保護者の方が、活動の最後にこうおっしゃられました。

「うちの子は、走ることが苦手なのですが、上級生の子たちと楽しそうに鬼ごっこをしている様子を見て、とっても嬉しかったです。家とは違う姿です。」

「上級生の子たちとの活動によって、下の子たちはそれを見て学び、次、大きくなった時に、下の子に示していくんですね。」

保護者の方のこの言葉に、私はとても嬉しくなりました。これこそ、学校がある理由なんだと再認識しました。

思えば、3年前の3月に新型コロナウイルス感染症の発症により、3か月間、学校が休校になり、再開とともに、学校の役割や学校の必要性が再認識されるようになりました。

毎日の授業や友達との遊び、学校行事、縦割り活動、委員会などの自治活動など、学校にはたくさんの活動があります。そのような活動からは、仲間との切磋琢磨や学び合い、多様な考え方の認知、優しさや思いやりなど、同世代や異学年がいる学校からしか学べないことがたくさんあります。トラブルが起きたときの対処の仕方も、学校ならではの学びではないでしょうか。

今年度も「校長室で語ろう！」と題して、校長室で、給食の時間に6年生から順に一人ずつ、私と一緒に給食を食べています。「わくわくする学校とは、どんな学校か。」

そう聞くと、子どもたちからは、次のような言葉が出てきます。

- ・楽しい学校
- ・みんなが笑顔であいさつができる学校
- ・みんなが誰かのことを思って活動する学校
- ・いじめがない学校
- ・先生や友達からの新しい学びがある学校
- ・友達同士で注意し合いながらも笑顔でいられる学校
- ・楽しいことや新しいことがある学校
- ・勉強が分かりやすく楽しい学校

また、「そのような学校をつくるために、大切にしたいことは何か。」そう聞くと、次のような言葉が返ってきます。

- ・友達を大切にする
- ・相手の気持ちを考え、寄り添う
- ・委員会活動など楽しみな企画を考える
- ・ほかほか言葉やほかほか行動でいっぱいにする
- ・自分から動く

学校は、たくさんのきっかけがあり、たくさんの可能性があるところです。このような思いをもつ子どもたちとの「わくわくする学校づくり」がとっても楽しみです。

交通安全教室

5月10日（火）に交通安全教室を開催しました。揖斐地区交通安全協会、交通安全指導員、揖斐警察署、揖斐川町役場、揖斐郡建設業協会の方々に来校いただき、「自転車の正しい乗り方」「トラックの内輪差」について学びました。

揖斐川町内の建設会社から大型トラックを準備していただき、運転席から見えない「死角」について教えていただきました。児童は「歩く」「自転車を運転する」という視点から交通安全について意識していますが、「自動車やトラックなどを運転する」視点から交通安全について考えることができました。ご家庭でも、運転者の立場からお子様とお話をさせていただくと良いかと思えます。

小中合同リサイクル

5月8日（日）に北和中校区の第一回リサイクル活動を行いました。地域の皆様、保護者の皆様、地区委員の皆様、PTA本部役員の皆様ありがとうございました。

第2回小中合同リサイクル活動は、7月31日（日）（予備日：8月7日（日））の予定です。

お知らせ

体育の授業での「水泳」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「中止」とします。

夏休みのプール開放については、令和3年度から「なし」と決定しています。

子どもたちのために・・・

谷汲地区にある企業から、揖斐川町の児童生徒の教育活動に役立ててくださいと寄付がありました。各学級での授業やオンラインで活用するタブレット端末を立てる三脚と学校図書を購入させていただきました。有効に活用させていただきます。ありがとうございました。